プレスリリース　　2026 年 10 月

茨城県笠間市笠間 978-4
公益財団法人 日動美術財団
笠間日動美術館

鴨居 玲
―カメラが捉えた画家の素顔―

2026 年 10 月 3 日(土)～12 月 20 日(日)



《私の話を聞いてくれ》1973 年



拝啓
時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。来秋、表記展覧会を開催いたします。つきましては、以下に展覧会の詳細をご案内いたしますので、ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

■開催趣旨

「自画像の画家」と称され、自己投影の作品を描いた鴨居玲。作品には鴨居の内面が表現され、見る者の感情に訴えかけてきます。一方、作品からは見えてこない人間、鴨居玲も存在します。

鴨居玲とはどのような人物だったのでしょうか。これまでその多くが未公開だった、素顔が写る貴重なポートレートから、「鴨居 玲」を紐解きます。

スペイン、ラ・マンチャ地方の小村、バルデペーニャスにおける村人たちとの交流や、親しい友人たちと過ごすひととき、そして作品に向き合う画家の姿を、カメラは赤裸々に捉えています。この度は、作品 73 点、富山栄美子撮影写真を中心に 75 点の写真、そのほか貴重な資料により構成します。





《アイロン(おばあさん)》





《自画像(絶筆)》1985 年

《鴨居玲》

1928 年、金沢に生まれる。金沢美術工芸専門学校（現在の金沢美術工芸大学）で学び、洋画家宮本三郎に師事。1959 年に初渡欧。1965 年、単身ブラジルに渡り、パリ、ローマにそれぞれ 1 年近く滞在し帰国。1969 年、第 4 回昭和会展に初出品で優秀賞を受賞。同年、安井賞展で安井賞受賞。1971 年から 1974 年までのスペインでの生活で多くのモチーフを得る。1974 年、パリにアトリエを構え、パリ、ニューヨーク、日本で多くの個展を開催。1977 年、パリを後にし、神戸に居を構える。

個展や画集出版など順調であった反面、環境の違いから制作には焦燥感を抱くようになる。やがて本質的な自画像の制作に取り組み、名作を生み出すが、自身の心身を痛める結果となり、1985 年 9 月に急逝。

《富山栄美子》

写真家。1941 年、ロシア人を父、日本人を母として、東京で生まれる。女子美術大学付属高校から写真の専門学校に進み、スポーツニッポン（スポニチ）のカメラマンとなる。1965 年、渡欧し、ヨーロッパ、アフリカの各国を周り撮影。1966 年、鴨居玲と出会う。1969 年、パリで鴨居と再会し、1971 年から生活を共にする。1977 年、帰国。鴨居が自死した 1985 年まで素顔を撮り続ける。

富山は鴨居について、次のように語っている。「『くらいなあ』という印象をもちました。この暗さに興味をもち、写真を撮らせてもらうようになりました」。

■展示作品

序章　一期は夢よ

1 章　私の小さな村

2 章　なぜ、自分は「神」を持っていないのか

3 章　神戸日記

終章　嬉しいことも憂きことも





《裸婦》



《長谷川智恵子像》1974 年







《教会》1976 年





《画帳 No.12(チータ)》





《(老人の顔)虫歯》





《襖絵(首吊り)》《襖絵(自画像像)》



■フォトスポット

鴨居のアトリエを訪ねたり、描かれた人物と会話をしたり、
愛犬、チータとツーショットを撮ったり、鴨居ファンならずとも
お楽しみいただけるスポットです。



■展覧会概要

会期：2026 年 10 月 3 日～12 月 20 日(日)

会場：笠間日動美術館 企画展示館（茨城県笠間市笠間 978-4）

開館時間：9 時 30 分～17 時（最終入館は 16：30 まで）

12 月からは 10 時～16 時 30 分（最終入館は 16 時まで）
休館日：月曜日（10 月 12 日、11 月 23 日は開館、翌日休館）
入館料：大人 1300 円、65 歳以上 1000 円、大学・高校生 900 円、中学生 300 円、小学生 無料、
20 名以上の団体は各 200 円割引 障害者手帳をお持ちの方、その同伴者 1 名は半額割引
主催：公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館
後援予定：茨城県／茨城県教育委員会／笠間市／笠間市教育委員会／ＮＨＫ水戸放送局
茨城放送／朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／共同通信社水戸支局／産経新聞社水戸支局
東京新聞つくば支局／毎日新聞社水戸支局／読売新聞水戸支局
担当：学芸部　大友　otomo.nichido@gmail.com　　管理部長　亀山　k-museum@nichido-museum.or.jp

■会期中のイベント
対談会「鴨居玲との 17 年」
講師：当館名誉館長 長谷川徳七、副館長 長谷川智恵子
日時：10 月 3 日(土)　14 時から約 1 時間
場所：企画展示館 2 階

フランス館ギャラリートーク
日時：10 月 10 日(土)　 14 時から約 30 分
場所：フランス館 2 階

鴨居玲ギャラリートーク
日時：11 月 3 日(火)、12 月 5 日(土)　各日 14 時から約 30 分
場所：企画展示館

■同時期開催
没後 40 年 梅原龍三郎展 それは、ルノワールより情熱的か？
会期：9 月 27 日(日)～12 月 6 日(日)
場所：長谷川仁・林子記念室

■次回展
ねこ写真家 関由香 ねこと一緒に、今日もいい日。
会期：2027 年 1 月 2 日(土)-2 月 28 日(日)

■交通案内
【JR 利用】水戸線笠間駅より 2km、徒歩 30 分、レンタサイクル約 10 分
かさま周遊バスという笠間市内を周遊しているバスがございます。詳細は観光協会 HP へ。
【自動車利用】常磐道友部 JCT 経由、北関東道友部 IC より国道 355 号線経由約 6km
東北道栃木都賀 JCT 経由、北関東道笠間西 IC より国道 50 号線経由約 8km　　以上